

# 日本地球電気磁気学会会報(第2号)

1962年8月15日

## 日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生町 3  
 東京大学理学部地球物理学教室内  
 電話(812) 2111内線 6476  
 振替 東京 4 8 6 0 番

### 1. 第32回講演会および総会

開催日程は次のように致します。多くの会員の方々の参加を期待しております。

1962年10月14日(日)・15日(月)・16日(火) 3日間

於 茨城県新治郡八郷町柿岡 地磁気観測所

懇親会は16日(火)夕刻石岡市内にて、

このような日程になりましたので、

各会員からの講演申込メ切は 9月10日(月)

アブストラクト提出メ切は 9月25日(火)

いづれも 東京大学理学部地球物理学教室 福島 直范に提出していただくことと致します。今回から新しく講演申込用紙・アブストラクト記入用紙をつくってみましたので御使用下さい。各会員にプログラムならびに宿泊申込書を9月下旬に発送する予定に致しております。前回の講演会及び総会の折には東京における水不足の影響でプログラム印刷が遅れまして会員各位に多大の御迷惑をおかけ致しましたので、このたびは上記の予定がくづれぬよう十分注意いたします。従って会員各位においても、講演申込メ切日厳守に御協力下さい。

追加講演の取扱いについて 近年は学会における講演数が非常に多くなりましたので、追加講演申込は次のような特殊な場合に限る、開催地における大会委員長の許可を受けて認められることにしたいと思います。即ち

(1) 講演申込メ切日以降に起った重要現象に関する速報

(2)

(ii) J.G.G.誌に投稿する原稿が既に完成しており、投稿規定によって、学会での発表を急ぐ場合

(iii) 大会委員長が緊急なものと認めたとき

田中館賞候補論文推薦および総会における議題提案、をされたい方々には、本学会委員長（東京大学理学部地球物理学教室 永田 武）宛に適切な様式の書面にて昭和37年9月10日（月）までに御提出下さるようお願い致します。

## 2. 会誌 Journal of Geomagnetism and Geoelectricity 発刊状況

Vol. XIII. Nos. 3/4 (1961年9月に京都で開かれた IUGG Rock-and Palaeo-magnetism シンポジウム特集号) が出来上り、この会報第2号と共に昭和36年度会費を納入された会員にお配り致しております。

昭和36年度会費を納めておられない方々でも、Vol. XIII. Nos. 1/2, Nos. 3/4 それぞれ400円づつで当学会事務所から入手できます。

昭和37年度会費を納入された方々にお配りすべき Vol. XIV は現在 No. 1, No. 2 とともに印刷中ですから、発刊され次第順次お手許にお届け申し上げます。バックナンバーも僅少部数ながら在庫がありますので、Vols. I ~ XI は各巻500円（特別な号のものだけでしたら1号につき150円）、Vol. XII は800円でお譲りしますから本学会事務所まで御申込下さい。なお既に品切れとなりました号については、マイクロフィルムにてお送りしますことを予め御承知おき下さい。

## 3. 欧文誌に対する文部省助成金

本年度は金80,000円（前年度に比して20,000円減）の助成金をJ.G.G.誌発行について文部省からいただけることになりました。前年度における成績不振のため補助金減額となりましたが、今年度大いに実績を上げて来年度以降は補助金を増額してもらえよう皆で努力したいと思えます。

会員各位がJ.G.G.誌に多数の論文を投稿されるようお願い致します。論文募集要項および別刷代などにつきましては前号会報を御参照下さい。

#### 4. 新入会員および賛助会員紹介・会員移動

前号会報発行以降正会員として（敬称略）

飯島 孝 （東京大学、理、地球物理）

木下 肇 （東京大学、理、地球物理）

の両名が入会されました。また昭和37年度賛助会員

田中幾次郎氏（京都、文功社取締役社長、太田会員紹介）から加入申込がありましたので喜んでお受け致しました。前号会報にも書かれてありますように、学会活動をさかんに致しますためには資金が必要であり、特に本年度は文部省からの補助金が減額されておりますような状態ですので、なるべく多くの賛助会員を勧誘していただくよう皆様をお願い申し上げます。

最新下記の通り会員の勤務先変更の御通知を受けましたので御連絡いたします。

会員名（敬称略）	新勤務先	旧勤務先
川野 実	名古屋大学工学部原子カ工学教室	電気試験所
新海 英三	鳥取大学文理学部物理学教室	京都大学

今後会員の方々の移動がありました場合はこのように皆様に御知らせ致したいと思っておりますので、移動を事務所まで御一報下さい。

#### 5. 学会連合

本年度地球物理学学会連合当番学会は日本気象学会となり、富山ス尚会員が責任者に、岸保勤三郎会員（御両人とも当学会会員でもられます）が事務を担当致すことになりましたと連絡がありました。

#### 6. International Symposium on Equatorial Aeronomy

春の総会で紹介がありましたように、本年9月にペルーで表記シンポジウムが開催されます。このシンポジウムには永田委員長と前田（寒）委員の御両人が出席することになりましたことを御報告いたします。

#### 7. 別刷交換会設置案

各研究者が各個に論文別刷を交換する手間を省き、しかも別刷交換を促進するため、本学会会員有志で別刷交換会を設置してはとの案が出ています。

(4)

来る秋季総会に議題として提出して会員各位の御意見を承わりたいと考えておりますが、御参考までに実施要項案の骨子をここに紹介いたします。

- (i) 本学会会員から参加希望者を募る。
- (ii) 加入者名簿を作成し、各加入者に名簿を予め若干部渡しておく。
- (iii) 配布したい別刷をお持ちの会員は、加入者名簿を利用して配布したい研究者の名に適当な印をつけた配布指定リストに、適当な数の別刷を添えて別刷交換会本部に届ける。別刷配布部数にはなんら制限はなく、原著者が提供可能な数に応じて配布先を指定いたします。
- (iv) 本部では各会員から寄せられたものを、適当な時期（たとえば2月に1度）に各論文著者が希望する通りにまとめて各加入者に発送する。別刷交換会加入者以外への配布はお取次ぎ致しかねます。
- (v) 加入者は郵送費および諸経費として年額500円を納入する。この事業を行って生じた余剰金は学会に寄附する。

後記：日本地球電気磁気学会会報には、会員各位からのお便りも掲載して、会員相互の連絡の便にも供したいと思っておりますので、表記学会事務所宛に御投稿下さることを期待しております。